



ID: 1352

科目名	簿記論【26年度生用】			コード			
英語表記	Bookkeeping						
担当教員名	山下 秀輔			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
簿記は企業の経済活動を金額の数値でとらえ、記録し、整理する手段です。「簿記論」でその原理や手続きを学ぶことは、「会計」、「経営」、「金融」といったビジネスの幅広い分野を学ぶのに必要不可欠な基礎知識を得ることです。							
到達目標							
日商簿記検定3級合格レベルを目標とする。							
授業計画							
第1回	簿記論で学ぶもの	授業の進め方と学び取る成果					
第2回	簿記とは何か?	簿記の歴史、現代簿記の意義、複式簿記について知る					
第3回	財務諸表とは?	貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書ほか					
第4回	簿記の流れ(その1)	取引から総勘定元帳までの流れ					
第5回	簿記の流れ(その2)	試算表の作成					
第6回	簿記の流れ(その3)	決算の手順、精算表、決算予備手続き					
第7回	簿記の流れ(その4)	期末決算、決算本手続き					
第8回	取引の処理(現金預金取引)	さまざまな取引の処理					
第9回	" (売掛金と買掛金、その他の債権債務) "						
第10回	" (手形・有価証券・固定資産) "						
第11回	" (資本金、収益と費用、税金) "						
第12回	簿記の実務	帳簿会計・伝票会計・コンピューター会計					
第13回	決算と財務諸表の作成(その1)	決算本手続き					
第14回	決算と財務諸表の作成(その2)	貸借対照表と損益計算書					
第15回	まとめ						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
主に授業態度、レポート、期末試験にて評価する。簿記の仕組みと用語の意味を正しく理解することを求める。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				20	20	60	
授業外学習			テキスト、教材				
必ず前回の復習をした上で授業に臨んでもらいたい。日商簿記3級の受験を目指す場合は、講義に沿って、問題集で各自自習されたい。			「簿記講義3級 商業簿記」渡部裕亘他著 中央経済社刊				
参考書			受講生へのメッセージ				
「日商簿記3級過去問題集」成美堂出版刊「簿記ワークブック3級(商業簿記)中央経済社刊			計算機を持参すること				
キーワード							
「簿記」はビジネスの言語である。							